学道一如

発行
小樽双葉高校
新聞部
2026年6月16日
第15号

バドミントン女子団体優勝

ダブルス 山田・尾山組 準優勝
シングルス 山田 優勝、尾山 準優勝

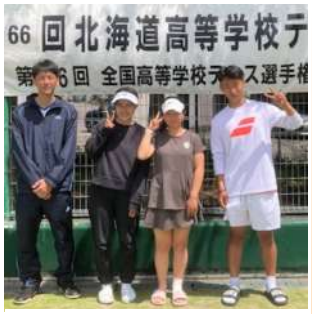
バドミントン部は高体連支部大会で女子が初の団体優勝、ダブルスで山田瑠菜（3-3）・尾山葵衣（2-3）組が準優勝、シングルスで山田瑠菜が優勝、尾山葵衣が準優勝した。男子は団体戦は2回戦敗退、個人戦はダブルス、シングルス共に2回戦までで終わった。全道大会進出を決めた女子にインタビューした。

元気いっぱいのバドミントン部員（集合写真）

表彰式を終えて（女子チーム）

テニス全国まであと一歩

男子 野村、女子 佐藤・大塩ベスト8



大島先生　　野村くん
大塩さん、佐藤さん

函館で行われたテニスの全道大会、女子ダブルス 佐藤由唯さん（2-2）。大塩あやのさん（2-1）がベスト8、女子シングルス 佐藤さんがベスト16に、男子シングルスで野村優斗くんがベスト8入りした。インターハイはベスト4以上、あと一歩であった。野村くんは「3年生2人に勝てたのは自信につながった」という。

全道に向けて心一つに

女子団体戦は1回戦小樽桜陽と対戦し、3-1で勝利した。2回戦は倶知安と対戦し、3-2で勝利した。主将の住吉ももさん（3-3）は「前回負けていたので緊張していたが、みんなで協力し勝つことができた。ゲームを落としても後に続く人を信頼して托すことができた」と語った。決勝は小樽潮陵と対戦し、3-1で勝利し、本校初の優勝を成し遂げた。メンバーは住吉もも、山田瑠菜、小笠原夕凪（3-3）、米澤芽唯（2-2）、尾山葵衣。

全道大会は16日から旭川で開催され、初戦は北海と対戦する。練習試合の経験があり、「パワーのあるチーム。後悔しない戦いを」と心に誓っている。

山田さん「力出し切る」

シングルスで優勝した山田さん。「目標は団体、ダブルス、シングルスの3冠だった。ダブルスで準優勝だったが、悔いはなく、やり切った思いがある。ただ、その悔しさをシングルスで晴らすことができた。決勝は双葉対決となり、去年の夏に負けているので、不安で気持ちがおしつぶされそうになったが、優勝できてうれしい。全道は高校時代最後の公式戦になるので、やり切りたい」と語る。

尾山さん「成長できるように」

尾山さんは「初めて団体優勝できたので、全道でも頑張ります」と語る。ダブルスでは山田さんが最後の大会となるのでサポートできるように、シングルスでは自分の成長につながるように戦うつもりだ。

女子バレー部 全道決勝T進出

写真は春季大会のもの

バレー部は全道大会で札幌大谷に敗れ、函館中部に勝ち、決勝Tでとわの森に敗れた。

主将の池田唯莉さん（3-3）に大会を振り返ってもらった。

強豪に立ち向かう

札幌大谷は今大会準優勝の強豪だった。20点取るのを目標に頑張った。自分たちのプレーはできたが、連続して得点を取られて、踏ん張り切れなかったのがもったいなかった。

練習の成果実る

函館中部戦では声が出て、ベンチとコートが一体となり、戦うことができた。速攻やサイドアウトなど自分たちらしいプレーができて、練習の成果を出すことができた。2-1で勝利した。

サイドアウト課題

とわの森戦は1セット目、雰囲気良く、サイドアウトが取れ、先取した。だが、2・3セット目は追いついても離され、サイドアウトが上手く取れず、1-2で敗れた。サイドアウトは今後も課題だ。

春高でベスト8を

今大会で良かった点を伸ばし、反省すべき点を練習して改善していきたい。目標にしている全道ベスト8は近くなったと感じている。

今週末はリーグ戦がある。春高選手権でベスト8の目標に届くよう、日々練習に励んでいく。